

講義名	19-教養特講 (社会保障を考える)/15-社会保障論			授業形態	
担当教員	中島 孝子	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

**主題と概要**

社会保障は身近な制度です。だれでも、人生の様々な局面で「困った」に直面する可能性があります。社会保障とは、「困っている人々を助ける」ための社会的な制度や政策といえます。本科目は、社会保障の理念や制度の体系を概観することで、社会保障という制度の基本を理解することを目的とします。授業では、日本の社会保障制度の基本的事項を確認し、それらの問題点を学びます。さらには、海外の制度との比較を通して、社会保障制度の全体像の基本的理解を目指します。

**到達目標**

現実に採用されている次の制度の考え方、概要、課題などについて理解できるようになる。  
 ・ 社会保障および民間保険  
 ・ 社会保障の自制度（医療、介護、年金、雇用、労災）  
 ・ 生活保護、社会手当および社会福祉  
 ・ 社会保障制度の財政および歴史について理解できる。  
 ・ 外国の社会保障制度の概要について理解できる。

**提出課題**

提出課題として、小テストなどを課します。詳細は授業中に指示します。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

課題提出後、解説や講評を行います。

**評価の基準**

成績は100点満点で評価し60点以上が合格です。  
 配分は、平常点40%、定期試験60%です。  
 ・ 定期試験にかえて課題（最終課題）を課すことがあります。  
 詳細は授業時に指示、または講義連絡等で通知します。  
 ・ 5回以上の欠席の場合、不合格となります。

**履修にあたっての注意・助言他**

どのような場合でも内容に集中して受講してください。  
 授業中の私語、遅刻・途中退室などの妨害行為、迷惑行為は厳禁です。  
 社会保障に関連するニュースに関心を持ち、つとめて新聞を読みニュースを見るようにしてください。

**教科書**

.なし。

**参考図書**

.なし。

**その他**

授業ではプリント資料を配布します。以下は、参考図書の中に、本科目における学習や理解において有用な文献です。  
 井俣謙「新・わかる・かえる社会保障論 事例でつむ社会保障入門」みらい 2021年  
 「社会福祉学習双書」編集委員会/編「社会福祉学習双書2021 6 社会保障論」全国社会福祉協議会2021年  
 梶野美智子・田中耕太郎「はじめての社会保障（第18版）」有斐閣 2021年

**授業計画**

- 1 説明、社会保障を学ぶ前に
- 2 医療保険制度
- 3 雇用保険制度
- 4 労働者災害補償保険制度
- 5 年金保険制度
- 6 介護保険制度
- 7 生活保護制度
- 8 社会手当制度
- 9 社会福祉制度
- 10 民間保険
- 11 社会保障の財源と費用
- 12 社会保障の歴史1
- 13 社会保障の歴史2
- 14 諸外国における社会保障制度1
- 15 諸外国における社会保障制度2

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

毎回の授業後、配付資料を用いて復習するとともに、小テストなどの課題に取り組んでください。  
 1回あたり4時間が目安です。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

本科目の学びを通じ、獲得する社会保障に関する知識は、知識を知恵に転換し、論理的思考力を持つ人材や創造力を持つ人材の育成の基礎となる。また、格差を生じさせざる資本主義経済、あるいは市場経済において社会保障はセーフティネットとして機能する。この意味で社会保障に関する知識は、自主独立の精神を支える。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

アンケートや小テストなどの提出にレスポンスを使用します。

**実務経験の有無及び活用**

**備考**